

みよし施設園芸支援センター(MGMI～恵み) 1期生修了式と3期生入講式を同時開催



JAあいち豊田(代表理事組合長:石川尚人)は、施設園芸(野菜のハウス栽培)の生産者を育成する「JAあいち豊田 みよし施設園芸支援センター(愛称:MGMI～恵み(めぐみ))」の1期生修了式と令和3年度入講式を4月13日に同時開催します。

JAは、昨年7月から同センターの第3期研修生を募集。農作業の体験や面接を経て、豊田市広美町の倉橋貴大(くらはし たかひろ)さんが入講します。倉橋さんの実家は、ハウス栽培の花き農家ですが、食べるものを作る農業がしたいと、同センターに応募しました。また、1期生の小森園由紀(こもりぞの ゆき)さんは、2年の研修を修了し、この4月に新規就農します。

同センターは、JAあいち豊田とみよし市が連携して2019年4月に開講。同JA営農指導員が講師として2年間研修します。現在は、2期生1人が研修しています。ナスを中心とした野菜栽培(他にはチンゲン菜等)や農業基礎・栽培技術・農業経営などを学びます。日本農業技術検定など農業経営に必要な資格等の取得も行います。研修費は原則無償で、研修期間中は奨学金として毎月15万円、年間180万円を支給します。

研修1年目は、愛知県立農業大学校のニューファーマーズ研修を受講しながら、同センターで栽培研修を行います。



年間を通じてナスやチンゲン菜などの栽培を学びます



研修は、ICTで生育環境を管理するハウスなどで行います

<取材日・場所等>

日時: 令和3年4月13日(火) 午前10時00分~

場所: みよし市明知町大塚132-3

内容: みよし施設園芸支援センター入講式と研修生の紹介

出席者: みよし市 小野田賢治市長、環境経済部職員

JA 石川尚人組合長、中根金良専務理事、寺田安孝常務理事

研修生 小森園由紀(こもりぞの ゆき)・倉橋貴大(くらはし たかひろ)